

# 岡本かの子

## 生誕 130 周年記念の集い



### かの子と、太郎と、 文学碑「誇り」と



高津区二子出身の岡本かの子は、短歌と小説と宗教（仏教）と、この3つを担いながら人生の砂漠を歩んだのだと言う。今年が生誕 130 周年です。一子・太郎はその母を慕い、その生涯を限りなく敬愛し、やがて故郷二子に岡本かの子文学碑「誇り」を建立しました。この秋、岡本かの子生誕記念事業として文芸講話と、かの子原作の仏教にかかわる寓話の一人芝居と、岡本太郎の生涯を演じる異色の文芸講談ライブもお贈りします！また記念小冊子もご提供します。ぜひ、お誘い合わせてご参集ください。

10/18 [金] 14:00 開演 (13:30 開場)  
高津市民館 (12 階) 大会議室

資料代：800 円（「記念小冊子」提供）



岡本かの子文学碑「誇り」

#### ◆ 一人芝居「鬼子母の愛」

岡本かの子作 出演：関根淳子

愛と暴力、暴走する母性についての寓話。鬼女・鬼子母は、はたして光を見出すことができるのか…。あの岡本かの子の名作を熱演！



関根淳子

東京出身で東大卒。静岡の劇団音乃座主宰、俳優、演出家、日本舞踊花柳流名取りで、独自の舞台劇で国内外の演劇祭に出演している。朗読劇「鬼子母の愛」は代表作で、三味線生演奏の新保有生は東京藝大在学中に安宅賞受賞し、邦楽離子の幅広いジャンルで全国を舞台に活躍中。



新保有生

#### ◆ 講談一席「岡本太郎」

出演：神田京子

波乱に満ちた太郎の生涯を躍動的に演じる異色の文芸講談。文学碑「誇り」の建立にかけた母・かの子への想いも…。



神田京子

歴史的な人物をキレ味鋭く演じる講談界のマドンナ。岐阜県出身、日大芸術学部卒。神田山陽、陽子に師事、14年に真打ち昇進。独演会、海外公演などのほからラジオ・テレビにも多数出演。高津では16年2月に「与謝野晶子」「岡本太郎」の演目で独演会を開催し、大好評を博した。

事前申込み制・先着順 定員（250名）限りで締切り、お早目にお申し込みください。

申込み先  
お問合せ

高津区文化協会

電話 090-9314-1430 (田村)

メール info@takatsu-bunka.org

FAX 044-844-4471 [参加者名・住所・電話番号を明記]

ハガキ 〒213-0001 川崎市高津区溝口 1-4-1 高津市民館内 高津区文化協会

主催 高津区文化協会 共催 川崎市 / 川崎市教育委員会